



音楽に影響を与えた聖書

E G G P L A N T

エッグプラント
那須ファミリー
ホームスクール通信

2006.6.1

No.23

私たちの生活の中で音楽は不可欠なものになっています。ウオークマンの誕生で、自分が好きな音楽を外に持ち出せるようになりました。絶えず新しい歌が生み出され、音楽鑑賞やカラオケは若者たちの趣味の筆頭格でしょう。映画・テレビでも主題歌、挿入歌は重要な役割を果たしています。今回は、この音楽の発展に聖書が深く関わっていることを考えてみます。

現代の音楽のテーマは、「男女の愛」が大部分でしょう。聖書にある詩歌のテーマは「創造主をほめたたえた賛美歌」でした。初代のクリスチャンたちはユダヤ人たちの歌い方を、参考にしていました。ちなみに、文化が栄えたローマ、ギリシアでどのような音楽が奏でられていたかはわかっていません。文字で書かれた詩しか残っていないので再現しようがないのです。

六世紀後半にグレゴリー一世という王が新しい旋律で賛美歌をつくりました。「グレゴリアン聖歌」と言われるものです。そして、十一世紀に画期的な業がなされました。アレツツオの修道僧グイドが音符を音で表す方法を考えたのです。私たちが普段使っている「ドレミ…」です。彼は音の高さを教えるために、賛美歌を使いました。その歌詞が次のようなものでした。

冒頭のウトウは歌いにくいので「ド」に変えられたそうです。太い文字が「レミソラ」になっていきます。(次の写真の緑で囲んでいる部分)「シ」の音がなかったため、後世にサンクテ ヨアネスの文字をつなげて「シ」に決め、全部そろったです。このラテン語の詩は「バプテスマのヨハネ」への祈りのことばです。

これによって音楽は、紙の上だけで存在できるようになり、十六世紀の活版印刷の発明によってさらに広まりました。十七世紀以降の敬虔なクリスチャン音楽家であったバッハ、ヘンデル、ビバルディたちによって音楽の世界は広がり、深まりました。

人間は感動を歌にしてきました。愛がしばしば取り上げられるのは、人間を一番感動させるからでしょう。実は、聖書は「人間に対する神の愛」を繰り返して語ってきました。創造主の愛を知ることが最高の

ウトウ クウエント ラキス レソ
ナレ フィブリス ミラ ゲストラ
ム ファムリ トウオラム ソルブ
ポルティ ラビイ レアタム サン
クテ ヨアネス



「息のあるものはみな、主をほめたたえよ。ハレルヤ。」(詩篇一五〇篇六節)

楽しくなったおめでとう
E

このごろぼくは、おてたいがすきになりました。

ポテトサラダやチヂミを作りました。たまねぎを切ったり一人で買いものに行くこともできるようになりました。フライパンをあらっていたとき一ぶがまだあつかったので、やけどをして水ぶくれになっしまいました。とてもふくれたのでびっくりました。水ぶくれのところには水が入っているとは思いませんでした。それが、われたときに中から水が出るのがすごいと思いました。そして、たまねぎを小さく切るのはむずかしくてたいへんだっただけでできてよかったです。

一番作りたいものは、水ぎょうぎです。これからもいろいろなりようりを作りたいです。

感動をもたらします。なぜならその愛は人間の愛を超えた永遠の愛だからです。世界的には、現在でも、伝統的な賛美歌・黒人霊歌だけでなく、ポップ調、カントリー調、ロック調などいろいろな曲種の賛美歌が盛んに歌われているのです。

「息のあるものはみな、主をほめたたえよ。ハレルヤ。」(詩篇一五〇篇六節)



「いんなことしました!」 行事報告

五月

- 三日〜五日 バイブルセミナー (協同学苑)
- 九日 JCチャーチスクール訪問
- 十一日 M十四才誕生日
- 十九日〜二十日 チア・コンベンション
- 二十四日 古市のおじいちゃん誕生日会
- 二十七日 日曜学校遠足 (キッズプラザ)
- 二十九日 石舞台古墳・明日香村

Nの読書コーナー

「虹色の約束」

野津 としひろ

主人公の名前はトローワ。トローワのお父さんのハルルトが宣教師の話をかんちがいしてしまいました。

ノアの箱舟はもう終わってしまったことなのに自分で箱舟を作り始めました。それに反対して家出をしてしまったトローワはモルソンを殺す事件にまきこまれ、ついに、ハルルトが作った箱舟が凶器とされました。ここからは、読んでみてください。

私はこの本にはとても感動して泣いてしまうほどでした。それにとてもおもしろくて私は三回も読みました。とても感動するお話です。ぜひ読んでみてください。

「亀石」→

明日香には謎の石造物がごろごろしています。亀石はその中のひとつです。表情がとてもおもしろかったです。他にも猿石や鬼のせっちゃん、鬼のまな板を見ました。



明日香村へ遠足に行ってきました!

明日香村に遠足に行ってきました。駅で地図をもらって、石舞台に向かって見どころをみながら、4キロの道のりを歩いていきます。充実した遠足でした。

とれたての苺が無人売店で売っていました。すごく甘くておいしかったです!



「石舞台」

今回の遠足の目的地。予想以上に大きかったです。蘇我馬子の墓と言われていています。



↑中は意外と涼しかったです。国内最大級の石室で、とても広くて、天井の石が落ちてきそうで少しビクビク。

他にも・・・、つばめがひなにえさをやる所を見ながら休憩。高松塚壁画館、国営飛鳥公園館、聖徳太子が生まれた場所と言われている橘寺などを見ました。気候も快適、夜は母の日、父の日を祝って子どもたちがごちそうしてくれました。

編集後記

昨年引き続き、チアのコンベンション大会場に行ってきました。関西のホームスクーラーたちと交流がさらに深まってきました。その後のメールや手紙のやりとりが盛んです。